

わかば通信

2022年10月15日

vol. 143

発行 北川わかばの会
<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

秋風
気持ちよし号



報告 第25回 北山わんぱく夏まつり

8月7日(日)、第25回北山わんぱく夏まつりが、『自然にどっぴりとつかり、自分の責任で楽しく遊ぼう!』という北山わんぱく夏まつり宣言と共に、北山公園・北川で新型コロナ前の2019年以來の開催となりました。今回は初めての北山わんぱく夏まつり実行委員会・東村山市共催、北川わかばの会協力という体制での実施としましたが、このことは多くのプラス面がありました。また、熱中症対策のため開催時間を午前中としたり、新型コロナ対策も万全に講じた上での開催となりました。

当日は天気にも恵まれ、心配された猛暑になることもなく、北川カヌー体験(小学生以上、整理券配布定員制)、北川ウォーク+魚採り(幼児は保護者同伴、定員制)、北山公園生きものさがし(新規メニュー、昆虫対象)、ザリガニ釣り、北川水族館、木工細工、紙芝居、牛乳販売などどれもが盛況で、多くの親子連れが北山公園や北川の自然を満喫していました。

(次ページへ)



恒例のカヌー遊びは今年も人気



紙しばいも毎回人気です



水路で魚取り、東村山の原風景？



しんぼう強くザリガニ釣り

特別な状況下での今回の夏まつりでしたが、たくさんの子もたちの笑顔を見ることができ、大成功だったと言う感触を得られ、やっぱり開催して良かったなと強く思うと共に、改めてわんぱく夏まつりの存在意義を認識しました。

約30名のボランティアと東村山市みどりと公園課の協力で会場設営や運営、撤収を行いました。全体としてスムーズに進行することができ、事故もなく無事終了することができたことは、主催者サイドとして感謝すると共にホッとしています。そして、このたくさんさんの命を育む北山公園・北川の豊かな自然の中で遊ぶことのできる環境を、次世代に引き継いでいくことは私たちの責務であり、わんぱく夏まつりや北川かっぱの会の活動を継続して行っていくことが重要だという決意を新たにしました。(ビー永島)

■参加者の声から

「貴重な、本当に素晴らしい経験をありがとうございました。北川ウォークでは、ご年配のお父様がたが子どもにいろいろ教えてくれました。○魚の見分け方、採り方○ヤゴでも、どんたとんぼのヤゴなのかの見分け方○ウシガエルのオタマジャクシだから逃がさないでほしいこと、などなど。

他にも、『何とれたんだ？』と気さくに話しかけてくれたり、カヌーで

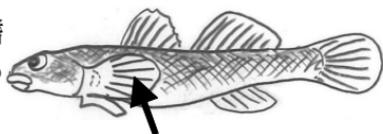
も漕ぎ方を教えてくれたりしました。地域の大人の皆さん、ご年配のかたから、子どもが昔ながらの遊び方を教わることは、教育においても良い事だと思いました！！」

報告 今年の魚類調査結果は

8月のわんぱく夏まつり水族館展示用に採捕した魚介類は魚類8種類、その他7種類、ほぼ例年と同様の顔ぶれでした。魚類の採捕数はカワムツが全体のほぼ半数を占め、次いでオイカワ、カマツカの順でした。

その他留意点等は…

- ・モツゴやタモロコの数が少ない…。
- ・カマツカは増えてきているよう。
- ・ヨシノボリ類として、クロダハゼ(旧名トウヨシノボリ)に加えて、柳瀬川流域でも分布を広げている国内外来種のカワヨシノボリが同時期に北川でも確認された(研究者私信)ため、当日展示したのもも混在していたと考えられたのでヨシノボリ類としました。両者はよく似ているのですが、胸鰭の鰭条(筋・図参照)の数が17本以下であればカワヨシノボリなので、ヨシノボリ類を捕まえたら数えてみて下さい。
- ・モクズガニが久しぶりに川で採捕された。甲幅7cm！
- ・近年カワニナの分布域が下流に広がってきて、数も増えています。水質がより良くなっているのか…？ 〈康〉



カワムツ



オイカワ



←詳細な結果(経年データ)は、北川かっぱの会のHPで見られます



カマツカ

かっぱの楽校 生き物講座 第113回 里山のカエル

東村山の里山はもうすっかり秋の気配ですね。あと少しで寒い冬がやってきます。

冬眠をする生き物たちも、冬支度で大忙しの10月です。今年の10月5日には、北山田んぼで稲刈りが行われました。僕は参加できませんでしたが、その時に撮影された写真がSNSに投稿されたものの一枚になると、ニホンアカガエルであろうと思う写真がありました。僕は随分北山公園には足を運びましたが、アカガエルは残念ながら一度も見かけていません。ところで多摩地区の平野部には、8種類ほどのカエルが生息しているようですが、北山公園周辺で僕が見かけたのは、トウキョウダルマガエル、ニホンアマガエル、アズマヒキガエル、シュレーゲルアオガエル、ウシガエルの5種類です。



その中で毒を持っているものもあります。まずはヒキガエルです。この毒は自分自身にとっては、外敵や寄生虫、細菌から身を守る役に立っています。毒の成分はブフォトキシンなどの強心ステロイドで心臓機能の亢進作用があると言われています。また、神経系・ステロイド系の毒素で皮膚につくと炎症を起こすので出来るだけ触らないようにしましょう。またその毒が口に入ったら、神経や循環器の障害、嘔吐・下痢・心臓発作などの可能性があるようです。ちょっと怖いですね。また、あの可愛いアマガエル(写真)も実は毒を持っています。ただし素手で触ったくらいでは何ともありませんが、その手で目を擦ったりすると、炎症を起こしたり、最悪は失明の可能性もあるようです。自然の生き物とは正しい知識と敬意をもって接したいですね。(中谷)

報告 身近な水環境の 全国一斉調査結果

6月12日(日)、身近な水環境の調査を北川と前川で実施しました。この調査は、全国一斉調査の位置付けで、例年6月の第1日曜日に実施されていますが、今年は当該日が北山公園菖蒲まつりでの北川水族館実施日と重なったため、12日に実施しました。晴れ間もあった天気の中、北川かっぱの会の会員6名で、密度の濃い調査を実施しました。前半は、2グループに分かれて北川と前川のそれぞれ3地点での水の採取と流速やゴミなどの調査を実施し、後半は公民館で透視度や電気伝導度、パックテストなどを実施しました。調査結果の概要とコメントを記載します。



・**COD** (水に含まれる有機物の量を示し、値が大きいほど水が汚れていることを示します。CODが1mg/l以下でイワナが棲息することができ、1~2mg/lで雨水と

同じくらい、3mg/l以下でアユが棲息することができ、2mg/l以上~5mg/l未満はやや汚れた水であると言われています) →今年COD濃度は一部を除き、2~4で例年並みの値でした。前川の徳蔵寺橋上流では8mg/lの高い値を示しましたが、原因は不明です。

・**透視度** →北川の北山公園内親水広場では75cmでしたが、他の地点では前川も含め120cm前後の値でした。

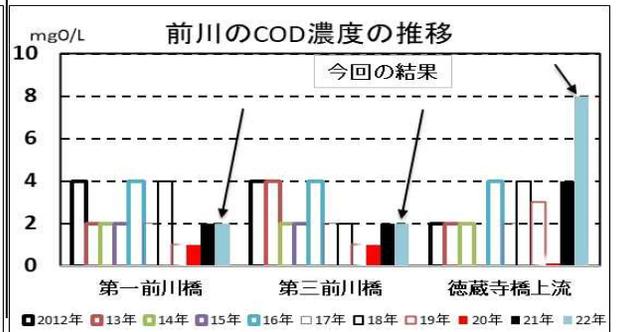
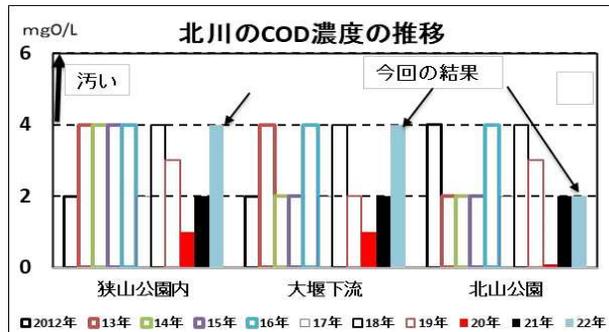
・**pH** (中性=7、酸性≤7、アルカリ性≥7を示す) →全地点で7.5でした。

・**電気伝導度** (EC; 水に溶けている成分(イオン)の総量を示す。値が大きいほど水が汚れている) →北川では183~200でしたが、前川では145~150でした。なお、空堀川をはじめ新河岸川水系では昨年、700を超える地点も散見されています。

・**NO₂-N** (亜硝酸態窒素; 川に流れ込む有機物(肥料など)の多さを反映する傾向がある) →例年同様、全地点で0.005~0.01でした。

・**NH₄-N** (アンモニウム態窒素; 下水、尿尿、工場排水などに由来し、これらの排水などの流入する汚れた水は高い値を示す。河川の上流水や湧水では0.05mg/l程度の値を、雨水で0.1~0.4mg/l程度を示す) →例年同様、すべての地点で0.2でした。

・**水量** →測定誤差が大きいため、あくまでも参考値であると考えていますが、例年と比較し今年水量が多い状況でした。



報告 北山小4年生の総合的学習「外来種」を支援

9月22日（水）、北山小4年生の総合的学習「外来種」の授業を支援しました。授業はクラスごとに2時間限づつで、最初の1コマでは講義形式で「外来種って何？」、「外来種って何が問題なの？」、北川や北山公園で見られる外来種の紹介、「外来種は悪者なのか」、「どうやって解決したらいいの？」について対話形式で学習しました。

次の1コマでは、北山公園で、まず外来植物（セイタカアワダチソウ、コセンダングサ、ヒメムカシヨモギなど）の駆除を体験し、公園内の外来植物ボックスに運びました。そして菖蒲田でタヌキ等の足跡を確認しましたが、足跡の数は少なめでした。最後にかっぱの会が菖蒲田に仕掛けてある網か

ら引き揚げたアメリカザリガニやウシガエルを観察しました。アメリカザリガニをつかんだ経験のない児童も、つかむことができるようになりました。ウシガエルは透明ケースの中に入れてものを観察しましたが、元気に飛び回っていました。

全体的には質問もたくさん寄せられ、外来種への関心の高さがうかがえたと感じています。北山公園や北川などの生物多様性の保全に向け、児童たちの体験学習が大きな力になってほしいと感じました。



北山公園のココが好き -田舎少年-

僕は北山公園が大好きです。それは、子供が生まれる前でも後でも変わりません。

まず、自然との調和が美しいです。小川、池、田んぼ、森のそれぞれが邪魔することなく、上手くマッチしており、リフレッシュに散歩するには最適です。また、三春桜、花菖蒲、彼岸花と四季折々の花たちに出会えるのも魅力の一つです。東村山に越えてきてすぐに見に行った花菖蒲は忘れられませんね…

次に、親目線で見ると、程よい広さで見通しが良く、自転車の乗り入れがないので、安心して遊ばせることができます。僕が特に気に入っているのは、水が綺麗な小川で水遊びができることです。探してもあまり無いと思います。暑い時期になると、よく都心の公園のじゃぶじゃぶ池でたくさんの子供たちが濁った水で遊んでいるのを見ると、北山公園があつてよかつたなあ、なんて思います。今年は、菖蒲田近くの水路でも遊ば

せてもらいました。でも、子供らがオールシーズン好きなのは、三春桜近くの盛土だったりします。公園に来ると必ず、満足いくまで走って上り下りを繰り返します。大人たちはヒィヒィです…

最後になりますが、今の北山公園があるのはかっぱの会をはじめ、

多くの方々のご尽力のおかげです。都市型の公園にならなくて本当によかったとつくづく思います。これからも北山公園にはお世話になりますね！



報告 いい川・いい川づくりワークショップのエクスカージョン

9月2日(金)の午後、いい川・いい川づくりワークショップ(いい川・いい川づくり実行委員会主催)のエクスカージョン(現地見学会)の案内を行いました。当日は小雨の中、北海道や九州など全国から川関係の仲間15名ほどが集まり、トトロの森37号地と北川・北山公園の現地見学が行われ

ました。北川かっぱの会からは、北山公園で公園の歴史や最近の公園づくり、かっぱの会の活動状況を、北川では親水広場と魚道を中心に解説を行いました。参加者からは多くの質問があり、市政への市民参加の状況や多自然型川づくりへの関心の高さがうかがえました。



2022年10月～12月 活動スケジュール

※ は **ボランティア募集** の略、**会** は会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。
「かっぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ **※**

毎月第2土曜 9～11時

11/12、12/10 集合:北山小正門前

北山公園の外来生物用の

アミ類の撒収作業 **※**

11/12 13-14時頃 小雨決行

10月末頃まで不定期にアミの点検作業を実施(かっぱブログを参照)

NPO法人子育て支援ネットワークすずめ

「昆虫と遊ぼう」を支援 **※**

10/16(日)10-11時半頃(北山公園)

市主催「エコライフフェア」に

パネル出展

11/29(火)12時～12/4(日)15時(中央公民館1階)



かっぱ定例会

11/26(土) 15時半-17時頃(サンパルネ3階) 12月頃～の活動予定を中心に検討します。

会費納入のお願い

今回、今年の会費について未納の方には振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費の振込をお願いいたします（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。「支援会員（主にカンパで支援していただける方が対象で、2年間で2000円（学生は1000円）」としてご支援をいただくことも大歓迎ですが、現在一般会員（年間3000円）の方々には、引き続き一般会員の区分で継続していただけますと幸いです。振込用紙の該当欄にご記入をお願いいたします。なお、りそな銀行あて送金される場合には、shot-1205@kjc.biglobe.ne.jp 吉田あてご一報いただけますと幸いです。

ご寄付に深謝！

北山わんぱく夏まつり、7, 9, 10月の北山いきものクラブで多くの方から寄付をいただきました（合計7825円）。ありがとうございました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。

北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000円
支援会員：2年間で 2000円
学生は2年間で 1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 紅葉のいい季節だけど、出かけて行っても、なかなか時期と天気が合いません。今週も、、（遊星歯車）

●発行：北川かっぱの会
連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

